

色絵と金彩



令和6年度春期企画展
江沼九谷の流れ

令和6年4月10日(水)～

令和6年7月1日(月)

主催：加賀九谷陶磁器協同組合

九谷磁器窯跡（国指定史跡）

九谷焼窯跡展示館

Kutani-yaki Kiln Museum

〒922-0242

石川県加賀市山代温泉19-101番地9

Tel：0761-77-0020 Fax：0761-77-0031

開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日 火曜日（祝日の場合は開館）

入館料 一般350円、75歳以上170円

団体（20名以上）290円

高校生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料



「金」は人類が古くから知る金属です。金鉱石だけではなく、精錬の必要の無い単体として産出される金も存在しますが、どちらにしろ数量は非常に限られていた為、その希少性と輝き、錆や腐食による変性がほとんど無いことから、古代文明の頃からその存在は、永遠に変わらぬ威光、権力、富を表すものでした。

また、金は金属の中では比較的柔らかく展延性に富むことから、古くから装飾品や美術工芸品の素材として重用されてきました。様々な国家や民族が、持てる技術の粋を尽くして造り出した金細工の名品が今に伝えられています。

我が国でも、様々な美術工芸の分野で金が用いられてきました。勿論、九谷焼もその例外ではありません。金を絵の具のように扱い、磁器表面の釉薬上に安定して焼き付ける為の技術の確立と、色絵磁器として最大限の魅力を引き出すためのデザインを目指して、陶工たちは研鑽を重ねました。

今回展示の再興九谷・江沼諸窯の作品群により、「染付」や「九谷五彩」と呼ばれる伝統的な絵付け技法と、金との組合せによって生み出される装飾効果をご高覧下さい。



九谷磁器窯跡
(国指定史跡)

九谷焼窯跡展示館

KUTANIYAKI KAMAATO TENJIKAN

〒922-0242 石川県加賀市山代温泉19-101番地9

Tel 0761-77-0020 Fax 0761-77-0031

メール: kamaato@kagacable.ne.jp

●開館時間

9時～17時(入館は16時30分まで)

●休館日

火曜日(祝日の場合は開館)

●入館料

一般: 350円、75歳以上: 170円、団体(20名以上): 290円

高校生以下と障がい者手帳をお持ちの方は無料

